

## 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

### 産学共同(本格型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR221A
採 択 年 度	: 2022 年度
分 野	: 第 1 分野
研究開発課題名	: 主観アウトカム・データ駆動型オンラインメンタル相談支援システムの効果検証と社会実装へ向けた展開
プロジェクトリーダー 所 属 機 関	: 共和薬品工業株式会社
研 究 責 任 者	: 清水 栄司(千葉大学)

#### 評価結果の総合所見

本課題は、ネット上で募ったモニターの心身の状態(主観アウトカム)をもとに、診断基準に満たないメンタル不調(閾値下不眠、閾値下うつ、閾値下パニック)の被験者を抽出し、それぞれの群を認知行動療法に基づくオンラインメンタルトレーニング(メントレ)アプリとシャム(偽)アプリを用いる2グループに分けて実施したランダム化比較試験を通じて、メンタル不調改善の効果検証と満足度調査を行うものである。

当初の目標は達成しているが、競合優位性の面から実用化に向けては課題が残った。今後の取り組み次第ではイノベーション創出の可能性はある。

開発したメントレアプリが閾値下不眠と閾値下うつに対して有意な改善効果を示すこと、また十分な改善効果の確認に至らなかった閾値下パニックについて被験者選定基準が一因である可能性があることを明らかにした点は評価できる。また、本成果を対外発表し、社会受容性に関するシンポジウムを通じて知見がステークホルダーに広く共有され、本分野における継続的な人的ネットワーク構築につながっている点も評価できる。

一方、他の類似のアプローチとの比較を通じた本提案の有用性実証に至らなかった点や、大学が開発したメントレアプリを組み込んだサービスの導入が限定的であった点は今後の課題である。本提案の特徴である被験者の症状に応じて最適なモジュールの組み合わせをカスタマイズできるテラーメイド療法の有効性検証や、それぞれのモジュールがどの程度改善効果に貢献しているか等の分析を進め、今後の改善へ反映させていくことが期待される。

以上